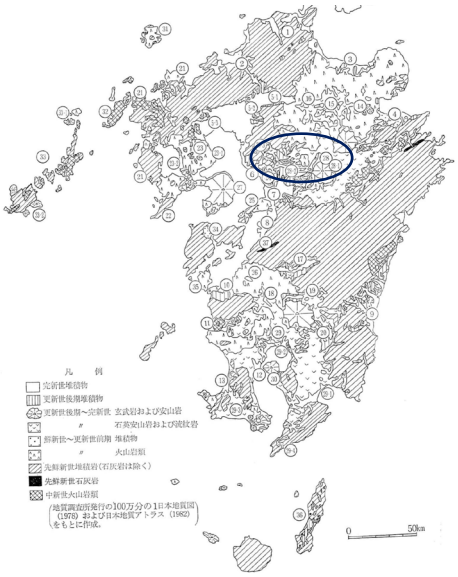
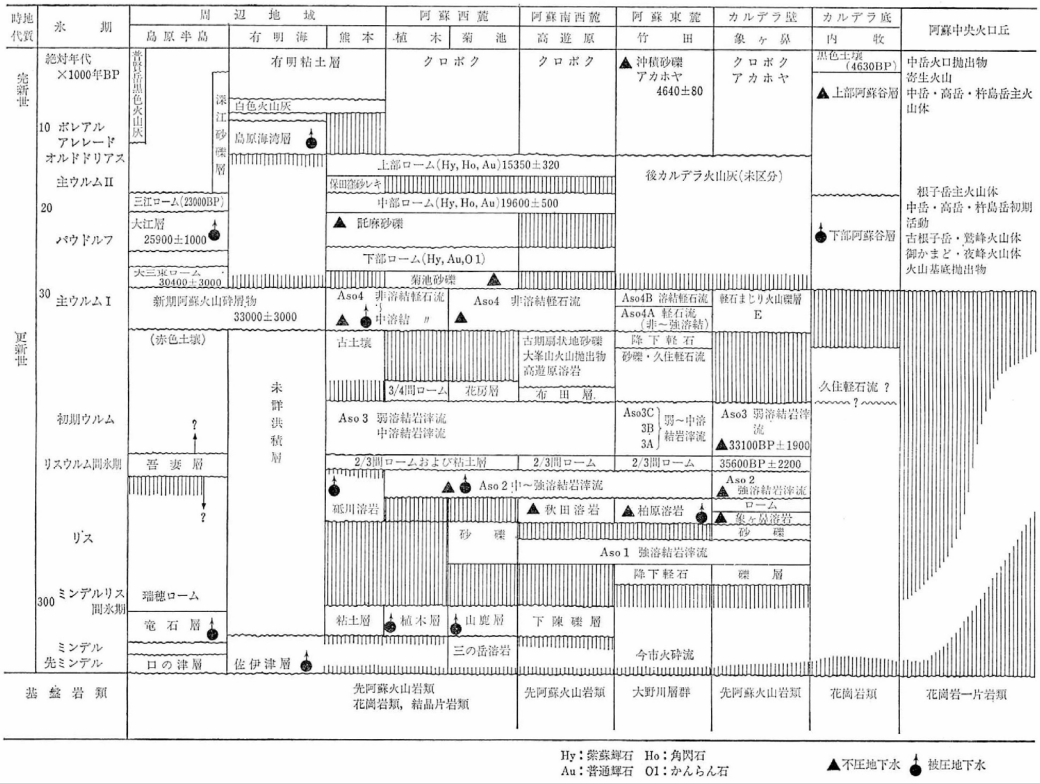
28.阿蘇山麓



地形・地質

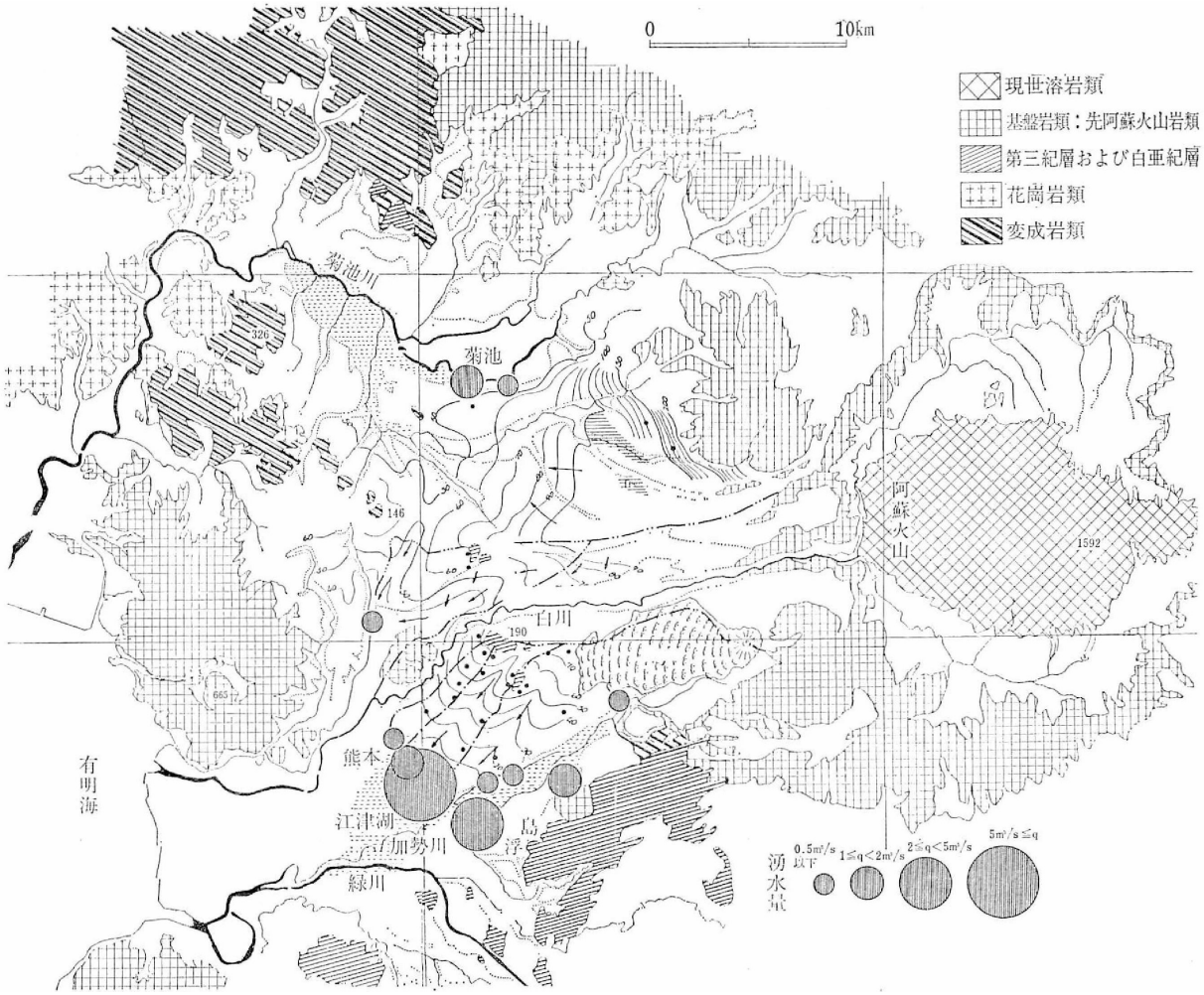
阿蘇山は広さ 379km^2 の大規模のカルデラをもつ活火山です。外輪山の西斜面は平坦な台地をへて熊本平野へ連なり，小岱山の北麓から東麓には南関台地が広がります。本地域は阿蘇カルデラ・阿蘇西麓・南関台地の３地区に区分しています。

阿蘇および周辺地域の水文地質層序対比表



地下水

阿蘇カルデラの被圧地下水の帯水層は，上部阿蘇谷層中に挟在する溶岩流と砂礫層です。阿蘇西麓の主要帯水層は，火砕流堆積物(Aso1～Aso4)・段丘砂礫層島原海湾層・溶岩流です。熊本市やその周辺には，八景水谷・水前寺・江津湖など多くの湧水があり，いずれも阿蘇外輪山の西側の広大な火砕流台地の末端に位置します。



浅層地下水位の水位等高線と湧水

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）